

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-298564 (P2004-298564A)
 【公開日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-042
 【出願番号】特願 2003-98283 (P2003-98283)
 【国際特許分類第 7 版】

A 4 5 C 11/04

【F I】

A 4 5 C 11/04

B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンタクトレンズケースのケース本体に設けられた、洗浄液と左右のコンタクトレンズを個別に入れる独立した一対の有底筒状部に着脱される、一対の偏平な逆有底筒状をなすキャップ体を保持するためのコンタクトレンズケースホルダーであって、

上記キャップ体の開放端を下方に向けた状態で該開放端の端面外周縁に少なくとも 2 カ所で点または線接触して該キャップ体を保持する一対のキャップ体保持部を有することを特徴とするコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 2】 請求項 1 記載のコンタクトレンズケースホルダーにおいて、

上記ケース本体の一対の上記有底筒状部の開放端を下方に向けた状態で該開放端の端面外周縁に少なくとも 2 カ所で点または線接触して該ケース本体を保持するケース本体保持部を有するコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 3】 洗浄液と左右のコンタクトレンズを個別に入れる独立した一対の有底筒状部を備えるコンタクトレンズケースのケース本体を保持するためのコンタクトレンズケースホルダーであって、

上記ケース本体の一対の上記有底筒状部の開放端を下方に向けた状態で該開放端の端面外周縁に少なくとも 2 カ所で点または線接触して該ケース本体を保持するケース本体保持部を有することを特徴とするコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 4】 請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のコンタクトレンズケースホルダーにおいて、該ホルダーは、略直交させて組み合わせた複数の垂直基板を有し、これら複数の垂直基板中の二枚の垂直基板の交差部分に形成した上方に向かって間隔を拡げる V 字状溝によって、一対のキャップ体保持部と上記ケース本体保持部とが形成されているコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 5】 請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のコンタクトレンズケースホルダーにおいて、該ホルダーは、平板状基板を備え、上記一対のキャップ体保持部とケース本体保持部とはそれぞれ、該平板状基板の下面に垂下形成した、該基板から下方に向けて間隔を縮小する各一対のテーパ脚部によって形成されているコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 6】 請求項 5 記載のコンタクトレンズケースホルダーにおいて、一対のキャップ体保持部の各一対のテーパ脚部と、ケース本体保持部の一対のテーパ脚部

は、同一直線状に並んでいるコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 7】 請求項 5 記載のコンタクトレンズケースホルダーにおいて、
一対のキャップ体保持部のテーパ脚部は一直線上に並び、この一直線上に並ぶキャップ体保持部のテーパ脚部と、ケース本体保持部の一対のテーパ脚部とは平行に並んでいるコンタクトレンズケースホルダー。

【請求項 8】 請求項 5 から 7 のいずれか 1 項記載のコンタクトレンズケースホルダーにおいて、上記平板状基板の上面は、コンタクトレンズと洗浄液を入れたコンタクトレンズケースを載置する載置面を構成し、該載置面上に脱落防止突縁が形成されているコンタクトレンズケースホルダー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【発明の概要】

本発明によるコンタクトレンズケースを保持するためのホルダーは、コンタクトレンズケースのケース本体に設けられた、洗浄液と左右のコンタクトレンズを個別に入れる独立した一対の有底筒状部に着脱される、一対の偏平な逆有底筒状をなすキャップ体を保持するためのコンタクトレンズケースホルダーであって、上記キャップ体の開放端を下方に向けた状態で該開放端の端面外周縁に少なくとも 2 カ所で点または線接触して該キャップ体を保持する一対のキャップ体保持部を有することを特徴としている。

この場合、上記ケース本体の一対の上記有底筒状部の開放端を下方に向けた状態で該開放端の端面外周縁に少なくとも 2 カ所で点または線接触して該ケース本体を保持するケース本体保持部を有するのが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明のコンタクトレンズケースホルダーは、別の態様によれば、洗浄液と左右のコンタクトレンズを個別に入れる独立した一対の有底筒状部を備えるコンタクトレンズケースのケース本体を保持するためのコンタクトレンズケースホルダーであって、上記ケース本体の一対の上記有底筒状部の開放端を下方に向けた状態で該開放端の端面外周縁に少なくとも 2 カ所で点または線接触して該ケース本体を保持するケース本体保持部を有することを特徴としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

いずれの態様でも、該ホルダーは、略直交させて組み合わせた複数の垂直基板を有し、これら複数の垂直基板中の二枚の垂直基板の交差部分に形成した上方に向かって間隔を広げる V 字状溝によって、一対のキャップ体保持部と上記ケース本体保持部とが形成されているのが好ましい。

また、該ホルダーは、平板状基板を備え、上記一対のキャップ体保持部とケース本体保持部とはそれぞれ、該平板状基板の下面に垂下形成した、該基板から下方に向けて間隔を縮小する各一対のテーパ脚部によって形成されていてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

さらに、一対のキャップ体保持部の各一対のテーパ脚部と、ケース本体保持部の一対のテーパ脚部は、同一直線状に並んでいるのが好ましい。

また、一対のキャップ体保持部のテーパ脚部は一直線上に並び、この一直線上に並ぶキャップ体保持部のテーパ脚部と、ケース本体保持部の一対のテーパ脚部とは平行に並んでいるのもよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

さらに、上記平板状基板の上面は、コンタクトレンズと洗浄液を入れたコンタクトレンズケースを載置する載置面を構成し、該載置面上に脱落防止突縁が形成されているのが好ましい。